

MATERIALITY BOOK

日立ハイテックフィールドディング マテリアリティブック



日立ハイテックグループの マテリアリティと 活動目標および関連するSDGs

日立ハイテックグループは、社会課題解決のために取り組むべきマテリアリティ(重要課題)として、国際社会の共通ルールであり達成目標に位置づけられているSDGs(持続可能な開発目標)を踏まえて、「社会からの要請」と「事業の重要性」の2つの視点から、5つのテーマを特定しています。









世界の
発展

技術の
発展

日立
ハイテック
グループの
事業基盤の
高度化

日立ハイテックグループの活動目標

関連するSDGs

<p>マテリアリティ 1</p>  <p>持続可能な地球環境への貢献</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 脱炭素社会の実現 ● 循環型社会の実現 ● 自然共生社会の実現 	
<p>マテリアリティ 2</p>  <p>健康で安全、安心な暮らしへの貢献</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 予防医療へのアクセス拡大 ● 水・食品の安全性確保 ● 社会インフラの安全性確保 	 
<p>マテリアリティ 3</p>  <p>科学と産業の持続的発展への貢献</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 科学技術の発展 ● 生産現場のレジリエンス実現 	 
<p>マテリアリティ 4</p>  <p>健全な経営基盤の確立</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 健全なガバナンスの実現 ● 製品安全性の確保 ● CSRサプライチェーンの実現 	 
<p>マテリアリティ 5</p>  <p>多様な人財の育成と活用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● ダイバーシティ経営の推進 ● 多様な人財育成の推進 ● 健康で安全な職場環境の確保 	 

次ページから、日立ハイテックフィールドイングの取り組みについて紹介します。



持続可能な地球環境への貢献



対象業務	顧客に提供する価値	顧客の先にいるステークホルダーに提供する価値	社会・環境価値	日立ハイテックフィールドイングの取り組み	活動目標
カーボンニュートラルに向けた省エネの推進	【従業員】 ● 二酸化炭素排出量の削減 (省エネの機会の提供)	【顧客】 ● 廃棄物の削減や 資源循環の促進	● 脱炭素社会実現への貢献 ● 持続可能な地球環境への 貢献	① 全サービスカーをHV車へ切り替え ② エコオフィス活動(電力・紙の使用量削減) ③ 3PL(サードパーティロジスティクス)化による CO ₂ 削減	脱炭素社会 の実現
事業活動における省資源、 廃棄物削減	【従業員】 ● 3R(リデュース・リユース・ リサイクル)意識の醸成	【顧客】 ● 循環型社会実現に向けた 目標の達成を支援する 価値提案	● 高度循環社会への貢献 ● 持続可能な地球環境への 貢献	① エコデリバリー (環境にやさしい緩衝材の使用) ② 適正な分別によるリサイクルの推進 ③ グリーン購入法適合商品の購入を推進 ④ エコサービスほか各サービス部門推進項目 (詳細内容はP6～の各事業分野の指標の連鎖 図に記載)	循環型社会 の実現
生物多様性保全活動推進	● 従業員が地球環境保全の 面から業務・事業を見直す 意識の向上、活動機会提供	● 生物多様性保全活動実施 の拠点・範囲の拡大 (保全地域・種の拡大)	● 自然共生社会の実現への 貢献	① 常陸の森、いなべの森の育林・ 植林自然保護活動 ② 河川や海岸などの清掃活動 ③ リモートワークのできる環境活動 (FSC認証マーク付など、生物多様性に 配慮した商品の選択)	自然共生社会 の実現



健康で安全、 安心な暮らしへの貢献



対象業務	顧客に提供する価値	顧客の先にいるステークホルダーに提供する価値	社会・環境価値	日立ハイテックフィールドイングの取り組み	活動目標
社会インフラの安全性確保への貢献、人々の安全な暮らしのサポート	【従業員】 ● 命と健康の維持 ● 顧客からの信頼獲得	【顧客】 ● 社会インフラの早期復旧、安定性向上による、事業活動の安定継続 ● 中長期的な経営戦略およびBCPの策定支援	● 社会インフラの早期復旧と安定性向上への貢献	①BCPの維持・改善による災害時におけるお客様事業の早期復旧支援 ②エコサービスほか各サービス部門推進項目 (詳細内容はP6～の各事業分野の指標の連鎖図に記載)	社会インフラの安全性確保



科学と産業の 持続的発展への貢献



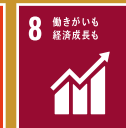
対象業務	顧客に提供する価値	顧客の先にいるステークホルダーに提供する価値	社会・環境価値	日立ハイテックフィールドイングの取り組み	活動目標
STEAM教育 (卓上型電子顕微鏡を活用した理科教育支援活動)	【学校】 ● 科学技術と接する機会の提供 ● 児童・生徒の活動推進による表彰・評価等の獲得	【児童・生徒】 ● 科学技術に関する興味関心の喚起 ● 研究活動支援	● 科学・医療技術等の発展につながる人材(次世代研究者)育成への貢献	①事業所近隣の小中学校での理科教育支援	科学技術の発展
デジタルサービスソリューションの提供	● データの分析・活用による装置運用の効率化 ● 装置の安定稼働	● 高品質・高性能な製品の開発・製造と安定供給	● 生産性向上と安定化によるデジタル社会の進展への貢献	①お客様事業の効率化に貢献するソリューション開発 ②エコサービスほか各サービス部門推進項目 (詳細内容はP6～の各事業分野の指標の連鎖図に記載)	生産現場のレジリエンス実現

健全な 経営基盤の確立



対象業務	顧客に提供する価値	顧客の先にいるステークホルダーに提供する価値	社会・環境価値	日立ハイテックフィールドイングの取り組み	活動目標
当社グループの公正な事業活動の基盤となる、コーポレートガバナンスの向上への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ● 経営陣の透明・公正・迅速・果敢な意思決定の実現 	<ul style="list-style-type: none"> ● 公正で透明な企業経営の実行による、社会への情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> ● 社会の一員として、健全で秩序ある社会の維持への貢献 	<ul style="list-style-type: none"> ① 日立グループのガバナンスを意識した決裁基準・規則のタイムリーなアップデート ② グローバルコンプライアンスリスクに対応した施策と体制のさらなる充実／各制度の機動性・実効性を高める取り組みにより、リスクを適切に管理し、インシデント発生時に迅速かつ柔軟に対応できる枠組みを整える 	健全なガバナンスの実現
作業の安全・品質確保への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ● サービス品質関連事故ゼロ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 製品・サービスに関わる法令遵守と製品・サービス事故ゼロに取り組むことでの、信頼性向上 	<ul style="list-style-type: none"> ● 安全、安心な製品・サービスの提供 	<ul style="list-style-type: none"> ① サービス品質向上活動、安全活動 ② エンジニアの技術教育 ③ PS事故防止への取り組み 	製品安全性の確保

多様な 人財の育成と活用



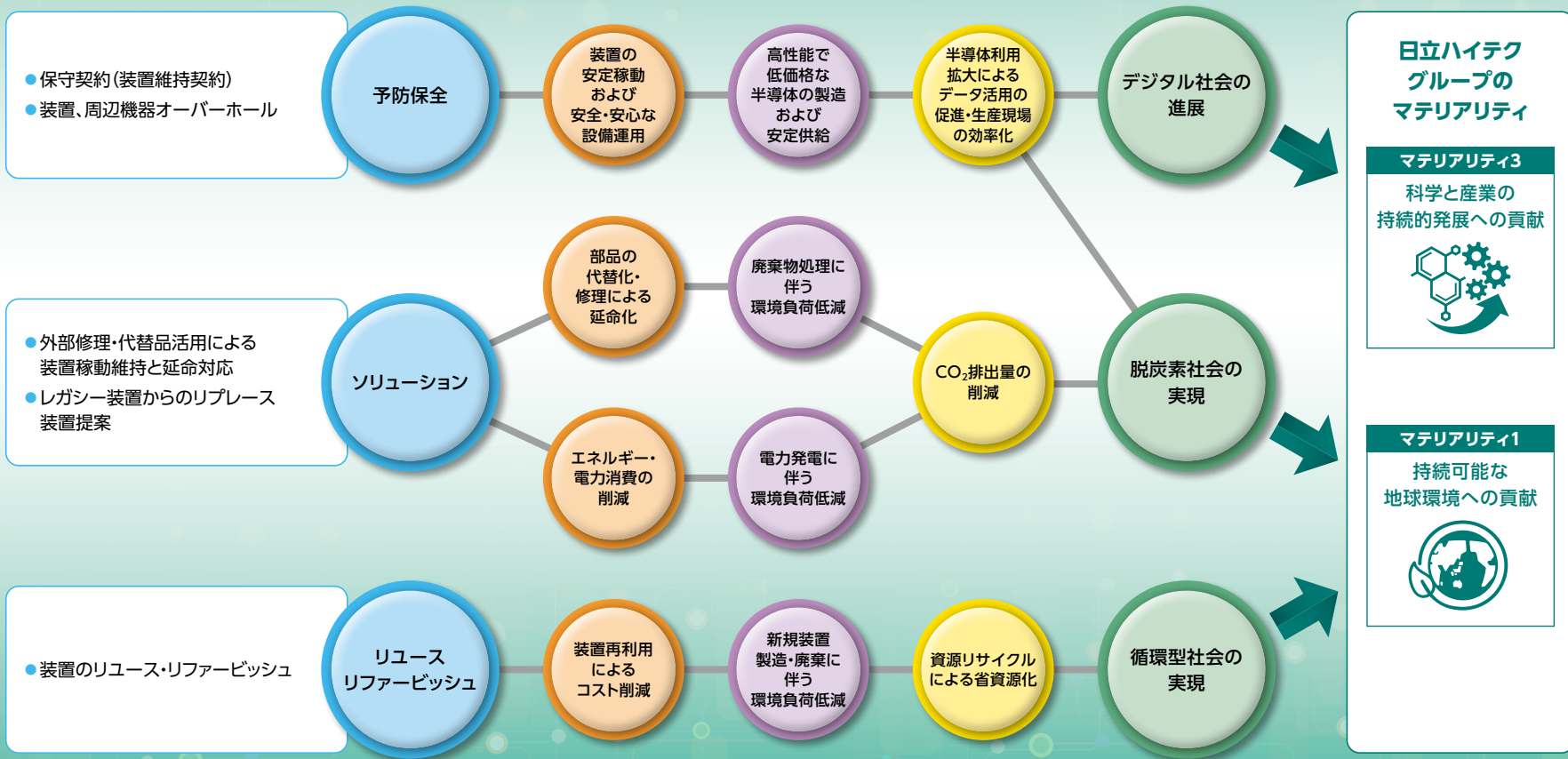
対象業務	顧客に提供する価値	顧客の先にいるステークホルダーに提供する価値	社会・環境価値	日立ハイテックフィールドイングの取り組み	活動目標
イノベーション創出につながる多様な人財が活躍できる組織づくり	<ul style="list-style-type: none"> 労働時間の削減、能力発揮機会の創出 	<ul style="list-style-type: none"> 業務効率化、イノベーションを起こせる人財の育成による当社の事業の発展 	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな属性（性別・国籍・経歴）やスキル・知識をもった人財の活躍 	<ol style="list-style-type: none"> 男性育休取得推進 働く場所のさらなる柔軟化 仕事とプライベートの両立支援 障がい者雇用推進 	ダイバーシティ経営の推進
人財を育成する多様な教育研修の継続実施	<ul style="list-style-type: none"> 多様な教育研修体系の拡充および教育研修の継続実施による、ケイパビリティ（能力）向上 	<ul style="list-style-type: none"> 人財育成による当事業の発展および競争力強化 	<ul style="list-style-type: none"> 育成した社員が各地で活躍することによる、各国の発展への貢献 	<ol style="list-style-type: none"> 教育体系・プログラムの再構築 <ul style="list-style-type: none"> 技術力・顧客対応力の強化 経営人財の育成 	多様な人財育成の推進
安全衛生意識を高めることによる災害ゼロ職場の確立	<ul style="list-style-type: none"> 災害リスクの撲滅推進 メンタルヘルスケアの充実 健康経営のさらなる推進 	<ul style="list-style-type: none"> 安全、安心な職場確保による従業員のウェルビーイングの向上 	<ul style="list-style-type: none"> 社員の心身健康充実による社会各分野での活躍 	<ol style="list-style-type: none"> 労働災害防止 サービスカー事故防止 定期健康診断二次検査受診促進 健康経営優良法人認定継続 ストレスチェックを踏まえた職場環境の改善 メンタル罹患率低減 	健康で安全な職場環境の確保

半導体 エッチング装置 「指標の連鎖図」

半導体 エッチング装置の安定稼働による生産効率化で、
科学と産業の持続的発展に貢献！
半導体製造に伴うエネルギー・電力消費の削減で、持続可能な地球環境に貢献！



主な取り組み



**日立ハイテク
グループの
マテリアリティ**

マテリアリティ3
科学と産業の
持続的発展への貢献

マテリアリティ1
持続可能な
地球環境への貢献

9 産業と技術革新の
基盤をつくらう

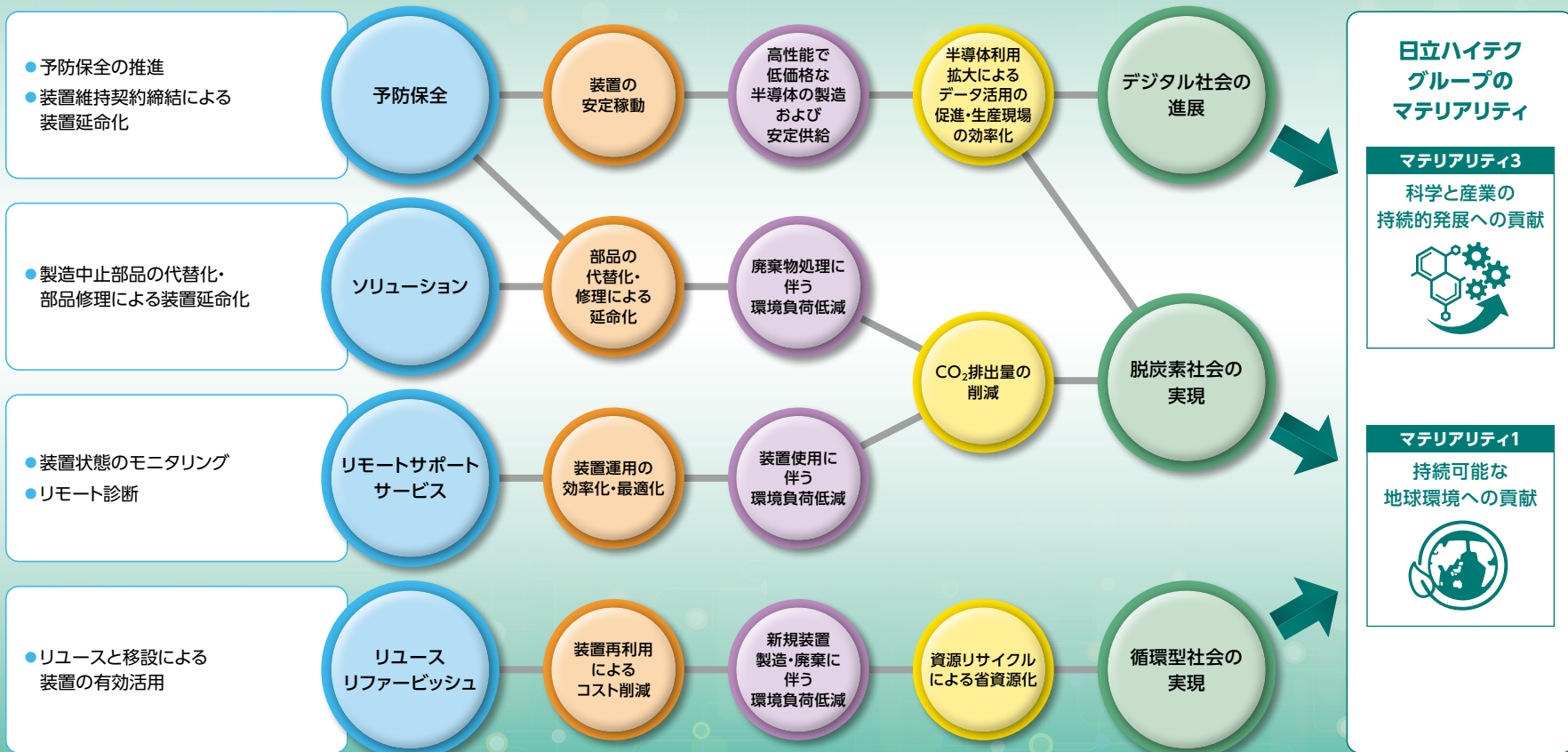
13 気候変動に
具体的な対策を

半導体 計測・検査装置 「指標の連鎖図」

半導体 計測・検査装置の安定稼働による生産効率化で、
科学と産業の持続的発展に貢献！
装置再利用による廃棄物削減で、持続可能な地球環境に貢献！



主な取り組み



電子顕微鏡・プローブ顕微鏡 「指標の連鎖図」

電子顕微鏡・プローブ顕微鏡の安定稼働による高品質製品の普及で、
安全、安心な暮らしに貢献！
温室効果ガス（SF6ガス）回収で地球温暖化を防止し、持続可能な地球環境に貢献！



日立ハイテック
グループの
マテリアリティ

マテリアリティ2
健康で安全、安心な暮らしへの貢献

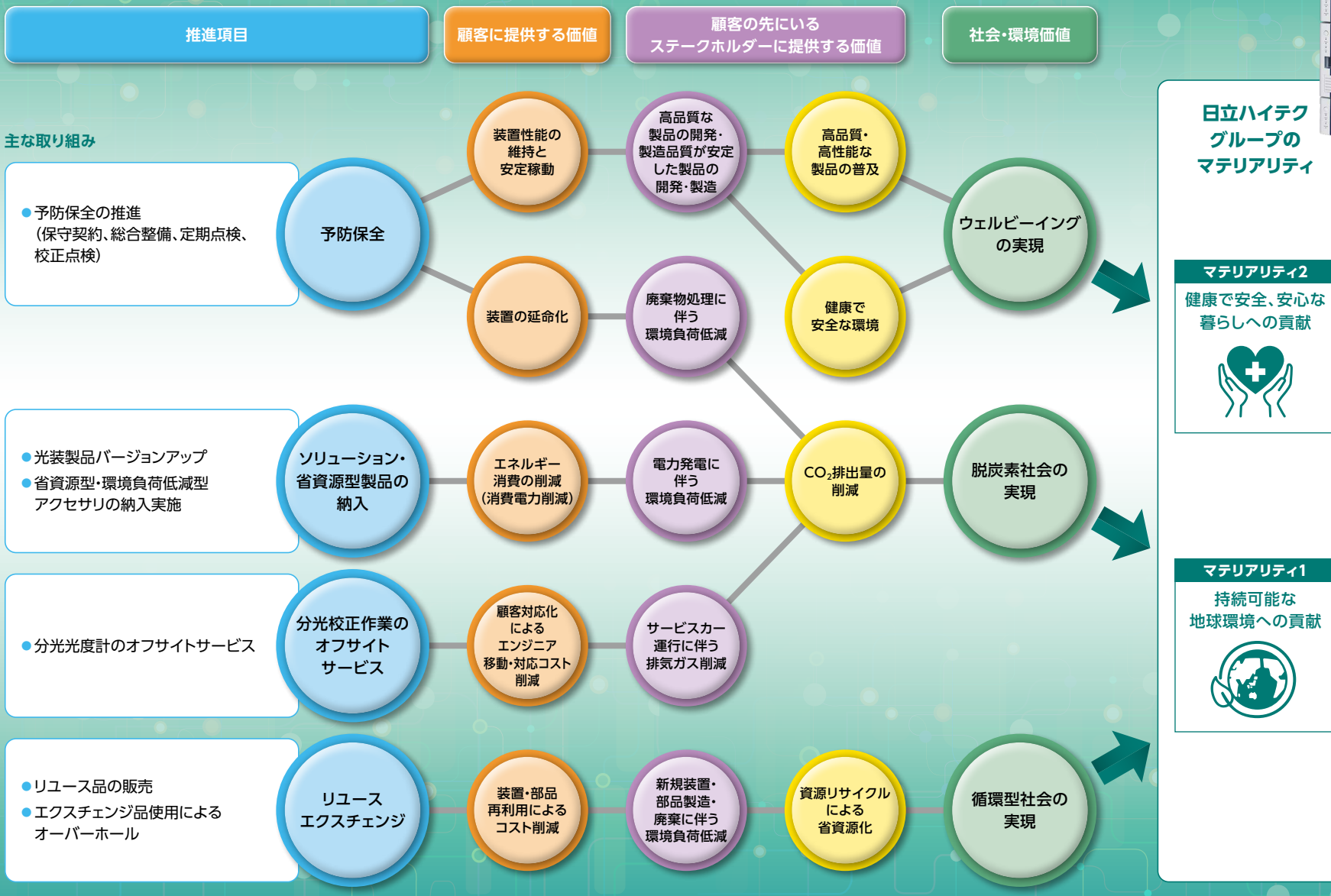
3 すべての人に健康と福祉を

マテリアリティ1
持続可能な地球環境への貢献

13 気候変動に具体的な対策を

分析装置 「指標の連鎖図」

分析装置の安定稼働による高品質製品の普及で、安全、安心な暮らしに貢献！
装置再利用による廃棄物削減で、持続可能な地球環境に貢献！



日立ハイテックグループのマテリアリティ

マテリアリティ2
健康で安全、安心な暮らしへの貢献

マテリアリティ1
持続可能な地球環境への貢献

3 すべての人に健康と福祉を

13 気候変動に具体的な対策を

医用機器 「指標の連鎖図」

医用機器の安定稼働による医療品質の向上で、健康で安全、安心な暮らしに貢献！
コンディションベース部品交換による廃棄物削減で、持続可能な地球環境に貢献！



主な取り組み

- 保守契約・総合整備の推進
- スポット点検契約の推進
- 純水装置の整備、リプレース
- コンディションベースの部品交換推進

- リモートを活用したデータ利活用によるコンディションベースサポートへの転換



日立ハイテックグループのマテリアリティ

マテリアリティ2
健康で安全、安心な暮らしへの貢献

マテリアリティ1
持続可能な地球環境への貢献

3 すべての人に健康と福祉を

13 気候変動に具体的な対策を

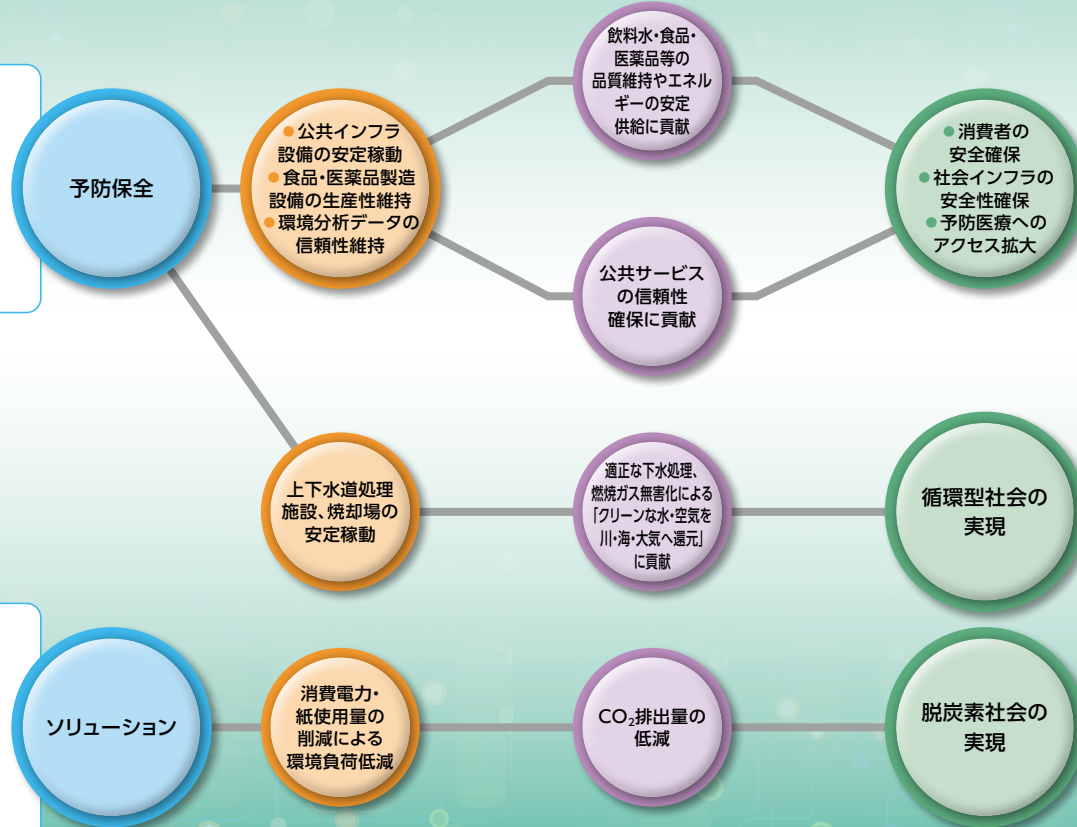
OTソリューション(計測・制御・分析) 「指標の連鎖図」

公共インフラの安定稼働による飲料水・食品・医薬品の品質維持で、安全、安心な暮らしに貢献！
 上下水道処理・焼却場の安定稼働により
 「クリーンな水・空気を川・海・大気へ還元」に貢献！



主な取り組み

- 予防保全**
- 予防保全の推進
 - 試運転時、トレーニング時の取扱説明



- ソリューション**
- 新型機器(省電力)への更新
 - 流量計の部分一式更新
 - 旧型PCの更新
 - 記録計のペーパーレス化

日立ハイテックグループのマテリアリティ

マテリアリティ2
健康で安全、安心な暮らしへの貢献

マテリアリティ1
持続可能な地球環境への貢献

3 すべての人に健康と福祉を

13 気候変動に具体的な対策を

部品・消耗品関連 「指標の連鎖図」

EDI取引による紙の使用量削減、輸送資材の削減で、
持続可能な地球環境に貢献!



主な取り組み



日立ハイテックグループのマテリアリティ

マテリアリティ1

持続可能な地球環境への貢献

13 気候変動に具体的な対策を



発行元

株式会社 日立ハイテクフィールドイング

2025年3月

Copyright ©2025 Hitachi High-Tech Fielding Corporation All Rights Reserved.

